

Japan EXPO 2025 Osaka Healthcare Pavilion

「展示・出展ゾーン」

出展企業発表会

2024年3月25日 月 17:00 START

マイドームおおさか 3F

メディア取材歓迎！

出展企業発表

- ・代表企業への出展証交付
- ・記念撮影

＼ 中小企業・スタートアップがミライを魅せる！ ／



◀ 「展示・出展ゾーン」公式ホームページ
【URL】 <https://osaka2025.site/>

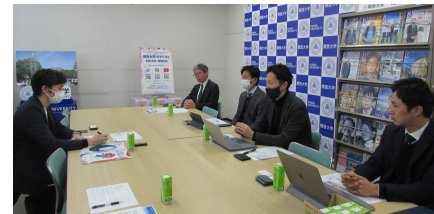
公式SNS：X（旧Twitter）▶
【ユーザー名】 @exposaka_reborn



Osaka
Healthcare
Pavilion
Nest for Reborn

2025年万博への出展をめざす中小企業・スタートアップを支援するリボンチャレンジ実施主体。今回は「関西大学」「（一社）西日本プラスチック製品工業協会」「（株）三菱UFJ銀行」「八尾市」「（株）りそな銀行（りそなグループ）」の5者を取材しました。各団体の取り組みや万博への想いなどを全力でお伝えします！

- ・企画・テーマの趣旨は？
- ・企業にはどんな支援を？
- ・万博にかける想いは？



▲1月26日 関西大学 取材時

リボンチャレンジ実施主体名



関西大学
KANSAI UNIVERSITY

【企画・テーマ名】

・Academia × REBORN ～学理と実際との調和～



大学として社会課題を解決するために

関西大学は今回のテーマに、理念の「学の実化（がくのじつげ）」に基づく“学理と実際との調和”を掲げた。大学発シーズを社会実装させるのは難しいといわれる中で、関西大学は万博に向けて企業と連携し、学問を社会課題の解決につなげる。2022年にはカーボンニュートラルの研究センターを開設するなど、より一層社会連携の強化に力を注いでいる。

大学×企業×学生で新しい価値を

関西大学の取り組みの中には、大学ならではの動きも多く見られる。例えば、学生コミュニティ“関大万博部”もその一例だ。学生たちは万博を盛り上げるべく、自ら挑戦テーマを設定し、非常食で作る小鉢弁当や絵文字によるコミュニケーションツールの開発など、様々な取り組みを実践する。また、リボンチャレンジ参加企業等と学生がともに企画し

たイベントでは、地域住民を中心に数千人規模の来場者が集まったという。万博を契機に新しいつながり・価値が生まれているようだ。

関西大学

住所：〒564-8680
大阪府吹田市山手町3-3-35
電話：06-6368-1416
担当窓口：万博推進プロジェクト事務局

リボンチャレンジ実施主体名



一般社団法人
西日本プラスチック製品工業協会

【企画・テーマ名】

・バイオプラスチックでREBORN



バイオプラスチックとSDGs

「海洋プラスチック問題などををはじめ、プラスチックにはどうしてもネガティブなイメージがある」と西日本プラスチック製品工業協会の担当者は話す。しかし、植物などが原料となり、適切に処理すれば水と二酸化炭素に完全分解されるバイオプラスチックは環境にも優しく、SDGsに貢献するものだ。そのようなイメージをもっと伝えられれば…という想いから、

今回のテーマにバイオプラスチックを掲げた。2023年には「大阪バイオプラスチックビジネス推進ネットワーク」を立ち上げ、バイオプラスチックの普及・浸透を図っている。

プラスチックの可能性を広げる

万博に向けては「バイオプラスチックでそんなものが作れるのか」と驚くようなものの製作を検討しているという。展示方法も、空

間デザイナーとともに作り上げるとのこと、バイオプラスチックについて来場者に分かりやすく伝える方法を見出す予定だ。

一般社団法人 西日本プラスチック製品工業協会

住所：〒550-0013
大阪市西区新町1-3-12
電話：06-6538-6100
担当窓口：万博担当

※掲載している内容は、いずれも発行時点のものです。
今後の事業の進展によって変更になる可能性があります。

【本件に関する問い合わせ先】
中小・スタートアップ出展企画推進委員会事務局 担当：井上
(公益財団法人 大阪産業局内)

TEL：06-6947-4365 MAIL：m-inoue@obda.or.jp



【企画・テーマ名】

・みんなで創るミライ社会「認める。活かす。高めあう。」



“真に公平・公正な世界”を万博で表現

三菱UFJ銀行は、万博で「DEI (Diversity, Equity & Inclusion) が実現する社会」を表現しようとしている。DEIは、三菱UFJ銀行自身が組織全体で取り組むべき重要な経営課題の1つとして掲げている考え方とのことだ。「まだ認知度の低い言葉かもしれないが、だからこそ万博は良い機会になる」と担当者は語った。今回はDEIの中でも、特にEquity…つまり、

“公平性・公正性”に目を向ける。多様性の尊重が叫ばれる今、人種、文化、年齢、障がい、ジェンダーなど、様々な垣根を越えられる未来が待っていることを表現したいという。

かす。メンターによるコンサルティングや実証実験の実施をサポートするなど、多岐にわたる支援で企業のアイデアを形にしていこう。

Rise Up Festaを活かした企業支援

企業への支援として、三菱UFJ銀行は“Rise Up Festa”という独自のベンチャー企業向けサポートプログラムで培ってきたノウハウを活

株式会社 三菱UFJ銀行
住所：〒541 - 8530
大阪市中央区伏見町3 - 5 - 6
電話：06 - 6206 - 8318
担当窓口：拠点部（大阪）

【企画・テーマ名】

・まちこぼのエンターテイメント！ ～みせるばやおモデル～



ものづくりの街が創造力を刺激する

八尾市はものづくりの街として、万博で共創にスポットを当てる。さらに、テーマとしてエンターテイメントを掲げ、まちこぼの技術を披露する中で“作りたい”という創造性を刺激するような展示をめざす。唯一の自治体参加であることを活かし、出展企業は全て八尾市内の企業で固める予定だ。地域を挙げて取り組むことに、地元企業の熱量も高まっているという。

“地元企業”を世界に

そんな八尾市の取り組みの拠点となるのは、平成30年にオープンした“みせるばやお”。みせるばやおでは、企業同士の交流会だけでなく、地域住民が地元企業の技術に触れられるようなイベント等を多数開催している。「みせるばやおができたおかげで、地域のつながりが一層強まった」と担当者は語る。万博に向けても、80（やお）アクション

という特設サイトを開設するほか、各種SNSで積極的に情報を発信。地域のものづくり企業が世界に羽ばたくまでをサポートする。

八尾市
住所：〒581 - 0006
大阪府八尾市清水町1 - 1 - 6
電話：072 - 924 - 3845
担当窓口：魅力創造部 産業政策課

【企画・テーマ名】

- ・ Resona Mirai Color ～春～ パーソナルデータに基づく健康へのアプローチ
- ・ Resona Mirai Color ～夏～ 新しいエネルギーシステムや環境配慮商品によるサステナブルな未来
- ・ Resona Mirai Color ～秋～ 日本の伝統産業や食文化、ものづくりの根底にあるデザイン・アート
- ・ Resona Mirai Color ～冬～ ものづくりの力と未来を感じさせる最新技術の融合からわくわくする時代への思いを馳せる



Resona Mirai Colorに込めた意味

りそな銀行（りそなグループ）は万博期間中、合計4週間にわたる展示を行う。それぞれにテーマは異なるが、“来場者がわくわくするような展示空間”を共通のコンセプトにしているとのことだ。医療やものづくりなどの比較的身近なものから、伝統や宇宙などの壮大なジャンルにも取り組み、「未来はこんな景色が見ら

れるんだな、ということが具体的にイメージできるような空間を作りたい」と語る。

ちなみに、りそな銀行が掲げるテーマには Resona Mirai Colorという言葉が冠に付いている。その意味を聞いてみると、「さまざまな要素を色に見立てている。例えば、“世界の国々と日本”、“未来と技術”、“出展企業と来場者”…など。それらの要素が混ざり合うと、新しい色、つまり新たな価値が生まれるはず。万博でもそのような化学反応を起こせば」と由来を教えてくれた。

中には、1970年の万博を経験した方もいるようで、「当時の万博で子どもの頃に感じたあの未来へのわくわくを、今度は自社のリソースを使って次の世代に伝えていきたい」と熱い想いを語っているという。

りそな銀行の企画ではグループ銀行の4社が一丸となって企業を支援する。展示の順番も26週の内の1週目を担うことから、準備にも気合が入っているとのことだ。約1年後に迫った2025年大阪・関西万博で、中小企業・スタートアップが活躍する姿が期待される。



▲ 出展候補企業を選考するピッチイベントの様子

次の時代にわくわくを届ける

りそな銀行は万博に出展する企業を選考する過程で2023年7月、2024年1月の2回に分けてピッチイベントを開催し、合計40社の企業が出展候補企業となった。それらの企業の

株式会社 りそな銀行
住所：〒541 - 0051
大阪市中央区備後町2 - 1 - 1 第二野村ビル4階
電話：06 - 6202 - 1755
担当窓口：ビジネスプラザおおさか